

ツルアジサイ (学名: *Hydrangea petiolaris*)

[アジサイ科 アジサイ属]



▲木に取り付き花を咲かせるツルアジサイ

梅雨の時期に花を咲かせる植物として誰もが思い浮かべるものにアジサイがあります。只見町に自生しているアジサイ属は4種あり、いずれも6月～8月に花を咲かせます。

多くのアジサイ属の花序は、両性花と装飾花で構成されています。中央に集まる両性花には雄しべと雌しべがあり、果実をつけます。周りを取り囲む装飾花の雄しべと雌しべは退化しており生殖機能はありません。また、肥大した萼が花びらのように見えます。

多くのアジサイ属の種類は低木で自立しますが、ツルアジサイは他の樹木の樹体を這い登ることで成長するツル性落葉木本です。主に山地の林内に成育しています。初めは地面を這い、倒木や岩の上などで成長しますが、ツルの先が他の樹木(ホスト)の根もとに到達すると茎や枝から気根を伸ばし、ホストの樹体に張り付くように這い登りはじめます。這い登った高さは10～20mに達し、初夏には幹いっぱい葉を茂らせ、白い装飾花の目立つ花を咲かせます。また、町内にはアジサイ科イワガラミ属でつる性の落葉木本であるイワガラミもツルアジサイと同様に他の樹木に這い登り、同時期に似たような形態の花を咲かせますが、イワガラミは装飾花の萼片が1個なのに対してツルアジサイは3～4個あることで見分けることができます。

企画展示

「多雪地帯に生きる 日本海要素植物」

期 間：7月17日(月) まで開催

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください